



# 津南中等教育学校 同窓会報

第2号

発行者

津南中等教育学校  
同窓会

TEL 025-765-2062

印刷 津南印刷商事



**先輩から後輩に語り継ぐ**

津南中等教育学校  
校長 吉原 满

先日葬儀の後のお斂の席で、小学校時代の同級生の母親と話す機会がありました。その方は、ご自分の三人の子の同級生の名前を全てフルネームで言うことができ、「驚異的な記憶力だな」と感心しました。私の同級生はわずか十九人です。とはいっても卒業してから四十年以上がたち、私は半分くらいの名前しか最初は思い出せませんでした。毎年多くの生徒の名前を覚える職業なので、新しい名前を入れるために古い名前を出さなくてはならないせいもあります。

その母親のおかげで、人生の最初に出会った同級生の名前を十九人全て思い出せたとき、手でさわるような濃い思いがよみがえってきました。

中等の生徒たちもお互いをそんな風に感じているよう見えます。中等での六年間は中学・高校での三年間の二倍以上の重さがあります。今年度、同窓会に二期生も加わり、いつそう立体感が出てきました。三年間しかない学校では、少し年が離れると全くの他人として自己紹介することが多々あります。中等教育学校は規模もそれほど大きないので、ここで過ごした時間の重みや仲間との一体感はより濃密です。

今年一番すばらしさを感じたのは、夏休み明けに実施した「先輩が後輩に進路体験を語る会」でした。このときは一期生が十人も来てくれました。一年生対象と三年生以上対象に分かれて大学とはどんなところか説明し、進路選択のとき考

たことや、自分がどのような努力をしてきたか、貴重な体験を語ってくれました。会が終わってからも後輩にアドバイスしている姿を廊下で見かけたりして、羨望に似た気持ちを抱きました。自分が生徒だったときは、そこまで強いつながりはありませんでした。卒業生は後輩にとって宝の山です。先輩の残してくれた足跡は失敗をも含めて、未来を考えるときの手がかりとなり、その後ろ姿は、悩み多き思春期の中にいる者をとても勇気づけてくれます。

同窓会を通して今後ますます津南中等生同士の心の輪がつながり、さらに広がっていくことを祈ります。



**副会長の挨拶**  
副会長 一期生 石澤陽向

私たち津南中等教育学校同窓会は、同じ学舎で青春の一ページを共に過ごした者同士が、一致団結して在校生の学習環境、部活動環境の整備及び、夢の実現のために必要なサポートをしていく集団です。

同窓生のみなさまにおかれましては、年に一度開催される同窓会総会や津南中等教育学校の先生方が企画してくださる在校生に向けた卒業生講話、母校で開催される体育祭や文化祭の度に、積極的に来校していただき、同窓生同士の絆は 물론、在校生との絆も大切にしていただけました

ら幸いです。

在校生の皆さんには、今しか味わえない感動や喜びを存分に噛みしめて日々の学校生活を送っています。また、特に六年生の皆さんは受験勉強に追われる日々を過ごしているかと思います。健康管理を怠らず、できる限り努力してください。努力は必ずあなたがたを良い方向へ導いてくれるはずです。そう信じて夢の実現に向けて頑張ってください。

まだ結成二年目で会員数も少ない同窓会ではあります、これから活動をさらに活性化させて

いたいと思っています。そのためには同窓生みなさんの協力が不可欠です。何よりも、まずは来年の同窓会総会に多くの同窓生が出席してくださるよう願っています。

最後になりましたが、今後の同窓会活動の発展と、母校のさらなる発展を心から祈念し、挨拶とさせていただきます。

## 同窓会総会の報告

今回の第二回津南中等教育学校同窓会は八月十二日に二十三名の同窓生の参加のもと、学校のランチルームで盛大に行なうことができました。

最初に、我々同窓会役員の不手際でみなさんへの連絡が遅くなってしまったことをお詫びいたします。そしてそのような中でも参加していただいた皆さんと、場所の提供や準備、片付けなどのお手伝いいただいた母校の先生方に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

さて、本題ですが、今回の同窓会総会は吉原満校長先生のご挨拶から始まり、新しく任命された役員の紹介、昨年度の会計報告、今年度の予算決議を行いました。なお、昨年度の決算、今年度の予算は参加者の半数以上の同意のもと決議されました。その後は参加者みんなで近況報告や思い出話に花が咲き、あつという間に時間が過ぎていきました。

その他、総会の中で、二年後の津南中等教育学校の「創立十周年記念に向け、我々同窓会も積立をして何か記念品を贈呈する」ことが決まりました。そのことについて来年の同窓会総会で突き詰めで話を聞いています。ですので、来年の総会には今年以上の会員の参加を期待しています。

最後になりましたが、今回の総会の連絡が遅れることをお詫びします。また、今回は母校の先生方の協力のもとで開催することができます。これからは、同窓会役員を中心として同窓会総会を開催していくたいと思っています。役員の皆さんには特にご協力をいただきたいと思って

います。よろしくお願いいたします。

**就職活動をして思ったこと**

1期生 福原 広大

私は今年の始めから5月頃まで就職活動をしていました。結果、新潟県の自動車ディーラーに内定を頂きました。就職活動というものは人生でそう何度も経験することではないため、1つ1つの試験でとても動搖し、緊張しました。

就職活動をしていて思ったことは、自分はまだ大人になりきれていない、ということでした。いつも書いている文章、話す言葉、身だしなみ、と挙げていいたらきりがない程、私は就職活動には向いていませんでした。それで、最初は基本的な言葉遣いや身だしなみから始めました。社会人になる上で、最低限の常識さえ身につけるのが大変でした。

苦労したこともありました。履歴書です。初めてきちんと履歴書を書きました。専門学校を受験したときは適当に書いてしまったので、就職活動用の履歴書作成は想像を超える苦痛を伴いました。自分の字の汚さに嘆き、文章力のなさに嘆き、1枚の履歴書のために10枚以上を失敗しました。

もう1つ苦労したことがあります。それは「自分を知ること」でした。就職活動では面接試験がとても重要だと感じました。そのためにも自分の長所や短所を詳しく知る事が意外にも大変でした。友人や家族に自分のことを聞き知る度に、自分の中に自信が持てる一面があるのだと気づきました。

就職活動で大事なことは自信だと思います。他の人たちより成績は悪いかもしれない。運動能力は劣っているかもしれない。けれど、「これだけは他の人たちに負けない。これだけは他の人たちより好きだ」そういうものを1つでも持っていると大きな武器になります。私自身、実際にその通りでした。

これから就職活動をする人やしている人に私の文章が少しでも役に立てれば幸いです。

**大学に進学して思うこと**

2期生 上村 実鈴

6年間ずっと一緒にいた友達・先生方、通いなれた中等、そして親と離れ新しい道に進み思うことは「大学はとても楽しい」ということです。大学は中学や高校のように多様な教科を浅く学ぶのではなく、専門的な教科を深く学びます。私は保健体育の教師になりたいと思っているため、教育学系の大学に進学しました。大学では教育心理学や専門教科の保健体育について学ぶ以外に週に一度、小学校へ実習に行き、教育現場の現状を学んでいます。

また、夏休みには母校である中等で1日だけ実習生として学ぶ機会がありました。たった1日だけの実習でしたが、学ぶことはとても多く「教師」という存在の大きさを改めて実感しました。そして、教師になりたいと強く思うとともに中等の先生方に出会えて本当によかったです。大学に進学して楽しいと思えるのは、自分が学びたいことを学べるという理由もありますが、色々な人と「出会い」で世界が広がるという理由もあります。自分とは違った考え方や価値観、趣味、特技を持った人と出会うことで世界は広がり、自分自身も変わっていきます。大学に進学して半年しか経っていませんが、色々な友達や先生に出会えて毎日がとても楽しいです。大学への進学や中等での実習を通して感じたように「出会いよかったです」と思われるような存在になりたいと思っています。中等で夢の実現を目指して仲間と頑張ったように大学でも夢の実現を目指して頑張りたいです。

**大学三年目にして思うこと**

1期生 桑原 麻人

私は今神奈川県にある麻布大学で、動物個体と人間の関係や、動物の遺伝子～生態系レベルの諸機能を資源と考えて人の生活に効果的に活用する方法などを学んでいます。キャンパスは狭いながらも関東圏では珍しく家畜動物まで敷地内で飼育している大学のため、日々多くの動物を見ながら過ごしています。

大学2年目も早くも半年が過ぎましたが、普段の講義・サークルでの活動にと多忙をきわめています。1年目には生物・科学の基礎的な内容の講義もありましたが、今年からは学科の特性に即した、細分化された専門的・実践的な内容が増えてきて、日々の講義に「大学らしさ」が色濃く出てきたように感じます。また3年生になると、動物と人間の関係を学ぶコースと、動物の生命活動とその資源を活用するための方法を学ぶコースの2つに分けられ、どちらか1つのコースを選択して研究室に所属することになります。両方のコースの内容を多く講義で学ぶことが出来るのは今年が最初で最後になるので、少しでも自分の知識を広げられるようにしていきたいと思っています。

2年後期が始まってコース選択を真剣に考える時期になりました。入学当初は「動物が好き」という単純な理由から、動物と人間の関係を学ぶコースに進みたいと考えていましたが、各講義を受けていくうちに、動物の諸機能が多くの分野でリンクし、その機能が活用されていることを知って、もう1つのコースにも興味が出てきています。この1年間で得られる知識・経験がどちらのコースに進むにしろ大きな武器になるはずです。偏った知識ではなく、多くの分野に通ずる知識を得られるように大学2年目を過ごしたいと思います。

**「挑戦」と「自由の意味」**

2期生 山田祐太郎

私が大学に進学してもうすぐ半年を迎えるようですが、入学以来の怒涛のごとき半年の中で私は「挑戦」と「自由の意味」について深く考えるようになりました。

まず「挑戦」についてです。大学入学を機に私は今まで自分がプレーしたことのないスポーツに挑戦しようと思い立ち、学友会フェンシング部に入部しました。大学生活は人生の中で最も「新しいことへの挑戦」が可能になる時期であり、同時にそれを可能にする土壤があります。そうした場であるからこそ、自分を変える何かを求めていく積極性が求められているのでは、と考えようになりました。

次に「自由の意味」についてです。大学生はそれまでと異なり大変自由度の高い生活を送ることになり、単に学業だけでなく部活やサークル活動、あるいはアルバイトなど様々なことに深く打ち込むことが可能になります。ただ、それと同時に「責任」を常に頭の片隅に置いておかなければ、とも思うようになりました。大学生は最早一人の自立した人間です。問題が起きた際に、誰かが何とかしてくれる、などと他者に依存した考えを廃し、自分ひとり、あるいは他者との対等な協力のもとで問題に挑まなければなりません。そうした責任ある思考、もしくは問題の発生を回避できるような責任ある行動があつてこそ真に「自由」な状態である、と思い始めています。

さて、決して長くはない大学生活の中で人はどのくらい成長できるのでしょうか。私はこれから大学生活を、「挑戦」と「自由の意味」を常に考えながら、少しでも有意義なものにできるように日々を過ごしていきたいです。

# 学校行事の報告

例年同様、今年度も体育祭・文化祭・チャレンジウォーク・夢講演等の多彩な行事が開催されました。同窓生の皆さんのが在籍していたころと変わらないものもありますが、年々形を変えながら進化しているものもあります。今回は体育祭と文化祭の様子について紹介します。

今年度は5月に体育祭が開催されました。初夏のさわやかな天候のもと、4連合でチームを組み、競い合いました。5・6年生の各クラスから応援リーダーが選出されました。団長のもと結束した応援やパフォーマンスが繰り広げられました。保護者や地域の方々にも応援をいただき、大いに盛り上がる1日となりました。

文化祭は例年より1週間早い10月の第3土曜日に行われました。学習発表、作品展示、前期生の合唱、後期生のクラス企画、文化部による企画やステージ等、見ごたえのある文化祭となりました。フィナーレでは全生徒・全職員が参加したビデオ動画を元に作成されたスライドショーが上映されました。まさに全員で作り上げた文化祭でした。

同窓生の皆様も地元に帰られた際にはぜひこうした行事にお立ち寄りください。お待ちしております。



# 在校生の活躍 (部活動大会結果等)

## ■ 陸上競技部

### 前期生

#### ○中越地区大会

<男子> 110mH 第3位 15'27 青木涼  
走高跳 第5位 1m65 山田大貴  
砲丸投げ 第7位 10m44 風巻光  
<女子> 100m 第8位 13'17 高橋真紀  
800m 第6位 2'28.03 柳依里  
4×100mR 第8位 53'55

阿部祐理・高橋真紀・金澤光紀・高橋実紀

### ○県大会

<男子> 四種競技 第8位 1992点 山田大貴  
○中越地区中学校駅伝大会  
<男子> 30位 1'07.32 柳旺志・丸山晃暉・  
福原翔・大口薰輝・石田健・川田尚輝  
<女子> 33位 54'17 柳依里・常山紗也花・  
滋野すみれ・福原怜奈・中島寛音

### 後期生

○春季中越地区大会  
<男子> 800m 第8位 2'04.15 桑原陸  
8種競技 第8位 3697点 山田翔太  
<女子> やり投 第2位 37m04 桑原春奈  
走幅跳 第5位 4m63 小林美希乃  
○県総体  
<女子> やり投 第7位 34m44 桑原春奈  
○秋季中越地区大会  
<男子> 800m 第4位 2'05.95 桑原陸  
<女子> 400mH 第6位 1'13.15 山本ことみ  
走幅跳 第7位 4m44 小林美希乃  
○県選抜大会  
<男子> 800m 第7位 2'02.60 桑原陸

## ■ 野球部

### 前期生

○都市大会  
1回戦 津南中等 4-2 吉田中  
2回戦 津南中等 0-6 川西中  
代表決定戦1回戦 津南中等 4-5 中条中  
代表決定戦 津南中等 1-4 下条中

### ○都市新人戦

1回戦 津南中等 1-8 中条中

### 後期生

○春季県大会  
1回戦 津南中等 5-0 安塚高松の山分校  
決勝戦 津南中等 7-2 新潟商業  
○春季北信越大会  
準決勝 津南中等 0-8 上田西  
【8回コールド】

○第58回全国高等学校軟式野球選手権新潟県大会  
代表決定戦 津南中等 11-2 直江津中等教育学校 【8回コールド】  
○第58回全国高等学校軟式野球選手権北信越大会  
準決勝 津南中等 3-2 松本工業  
決勝 津南中等 0-3 松商学園  
○秋季県大会  
1回戦 津南中等 0-3 新潟商業



## ■ サッカーチーム

### 前期生

#### ○都市大会

津南中等 0-2 塩沢中  
津南中等 0-5 六日町中  
津南中等 2-1 大和中

#### ○都市新人戦

津南中等 0-5 六日町中  
津南中等 1-2 塩沢中  
津南中等 1-2 大和中

### 後期生

#### ○春季中越地区大会

1回戦 津南中等 0-11 小千谷高校  
敗者戦1回戦 津南中等 0-3 長岡農業高校

## ■ 卓球部

### 前期生

#### ○都市大会

男子団体 津南中等 0-3 十日町南中  
津南中等 2-3 川西中  
津南中等 3-1 氷沢中

#### 予選リーグ3位

男子団体 津南中等 1-3 中条中  
津南中等 0-3 川西中  
津南中等 2-3 氷沢中  
予選リーグ4位

女子団体 津南中等 3-2 川西中  
津南中等 3-1 十日町中・十日町南中

### 優勝

女子シングルス  
2位 古川悠生 3位 尾身典香 3位 藤野まゆ

### 後期生

#### ○春季地区大会

女子シングルス

中村 優良 ベスト3.2 (県総体進出)

石川実結希 ベスト3.8 (県総体進出)

丸山ちなみ ベスト4.0

#### ○秋季地区大会

石川実結希 ベスト3.2

丸山ちなみ ベスト3.2

大口茉莉子 ベスト4.8以上

## ■ バレーボール部

### 前期

#### ○第33回 十日町市・中魚沼郡中学校バレー大会

#### 予選トーナメント

1回戦 津南中等 0-2 下条中

2回戦 津南中等 2-1 中里中

#### 決勝トーナメント

1回戦 津南中等 0-2 川西中

#### ○第33回 十日町市・中魚沼郡中学校新人バレー大会

#### 予選トーナメント

1回戦 津南中等 1-2 氷沢中

3位決定戦 津南中等 2-0 中里中

#### 決勝トーナメント

1回戦 津南中等 1-2 川西中

### 後期生

#### ○平成25年新潟県高等学校春季地区体育大会

#### 中越地区バレー大会

1回戦 津南中等 0-2 長岡農業高校

#### ○第66回新潟県高等学校総合体育大会バレー大会

1回戦 津南中等 1-2 日本文理高校

#### ○強化練習会

1セット VS 八王子実践女子 勝○25-8

2セット VS 松代高校 勝○25-21

3セット VS 八王子実践女子 勝○25-11

4セット VS 松代高校 負●22-25

5セット VS 八王子実践女子 勝○25-15

#### ○第66回日本バレー・ボール高等学校選手権大会

#### 中越地区予選会

1回戦 津南中等 0-2 見附高校

#### ○新潟県バレー・ボール新人大会中越地区大会

#### (小林杯)

1回戦 津南中等 0-2 八海高校

2回戦 津南中等 0-2 帝京長岡高校

#### ○新潟県バレー・ボール大会秋季中越地区大会

1回戦 津南中等 0-2 長岡向陵高校

2回戦 津南中等 1-2 小千谷高校

## ■ 吹奏楽部

### 前・後期生

#### ○県吹奏楽コンクール 高等学校Aの部

#### 銅賞受賞

#### ○県吹奏楽アンサンブルコンテスト 高等学校の部

#### 2団体参加 銅賞受賞

その他、学校行事や地域での演奏活動を多数行っています。

## ■ アート部

体育祭でのパネル作成や文化祭での作品展、演劇発表等積極的に活動しています。

## ■ 科学部

今年の文化祭での津南万博も好評を博しました。また、夏に苗場ボランティア登山を行い、登山道の整備に貢献しました。

## ■ その他

6年生 佐藤亞耶さん

JOCジュニアオリンピックカップ2013・全日本ジュニアスキー選手権大会スノーボード競技 種目ハーフパイプ 女子3位

スノーボードジュニア世界選手権ハーフパイプ (トルコ・エルズルム) 女子5位入賞

ワールドルーキーファイナル スロープスタイル (オーストリア・イシガル) ルーキー女子8位



部活動練習風景

**新生活**

2期生 笛木 晨

2013年3月に津南中等教育学校を卒業し、4月から私の新生活が始まりました。大半の人たちは、1人暮らしをスタートしたと思いますが、私の生活は、少し、いえかなり変化しました。6時ラッパの音で起床、5分以内に舍前に整列し点呼及び乾布摩擦、その後清掃、朝食、課業行進、課業、昼食、課業行進、校友会、風呂、夕食、清掃、自習、就寝、、ととても慌ただしい生活を送っています。なぜ私がこのように一般とかけ離れた生活をおくっているのかと言うと、防衛大学校に進学したからです。今までの自宅での私生活と異なり、自分の時間は限られるようになりました。しかし、今はとても充実した生活を送っています。4月当初は、環境の変化や日常的な体力づくりのおかげで、自習時間は疲れていてろくに勉強できませんでしたが、人間の慣れとは恐ろしいもので、5月に入る頃には自習時間もしっかりと勉強できるようになりました。新しい仲間ににおいても、このような状況下すぐに仲良くなりました。自衛隊に「同期は一生の友」という諺がありますが、その言葉どおり、同じ中隊の一学年とは団結しています。私はこのような生活を送っていますが、他の方々もそれぞれの思いで、生活、勉強をしていくことと思います。まだまだこの生活はこれからも続きますが、みなさんに負けないように頑張っていきたいと思っています。

最後に、防衛大学校をよろしくお願いします。

**看護大学に進んで思うこと**

2期生 桑原 歩

新潟県立看護大学に進学して6ヶ月が過ぎようとしています。学校生活や1人暮らしにも慣れ、泣いたり、夜中に誰かに電話したりすることも少なくなりました。看護の単科大学に入って、同じ夢をもち、同じ意志をもつ仲間と出会えて、お互いに刺激を受けながら充実した毎日を送っています。

看護大ということで、医療、福祉、介護系のサークルがたくさんあります。私は手話、VSP、ふれあいコミュニケーションサークルに所属しています。手話は今まで触れたこともなく、一からの挑戦でしたが、将来必ず役に立つと思い、資格取得を目指し、少しずつですが頑張っています。VSPサークルはボランティアのサークルで、最近では24時間テレビのチャリティー募金の活動がありました。ふれあいコミュニケーションサークルでは、主に障害を持つ方々と交流をしています。実際に参加してみると、気づかされたことがたくさんあり、とても勉強になりました。

このように、看護大ならでは活動が充実していて、自分がこれからどうしていかなければならないのか、何が足りなく何が必要か、自分が一步ずつ幼い頃からの夢である看護師に近づいている気になります。それもうすぐ始まる後期から初めての実習があります。2月にはいよいよ病院実習も控えています。おそらく実際に実習を通してさらに多くのことを学び、感じができるでしょう。私は今度はこの場所で夢の実現に向けて日々精進していきたいと思います。

**専門学校に進んで思うこと**

2期生 南雲ななみ

私は国際ビューティーモード専門学校という美容専門学校に通っています。小学生のときからの夢だった美容師に少しづつ近づいていて、とても充実した学校生活を送っています。入学して半年以上が過ぎた今、いくつかの資格をとったり、自分のアイデアを実践させてもらえる機会が多くあったり、個人的に先生や先輩との距離感を近づけられた気がします。

1学期では、TONI&GOLDという海外のカットスクールのカリキュラムを経て、ワンレンジスというカットの試験に合格しました。実技では他にも、ワインディングという科目で、1年生約120人中の20人に選ばされました。座学では、専門的な新しい科目ばかりを勉強しています。たまに授業中眠くなってしまうこともあります、先生の話を聞いていなかったときに後悔するようになりました。定期テストのためだけではなく、自分が学びたいことを教えてもらっているのに、その機会を逃すのはもったいないと思うようになりました。

1学期はこれらの中、海外の有名なサロンスタッフのデモンストレーションを見たり、校内で技術のコンテストがあったりしました。私は個人的に、3つのフォトコンテストにも参加して、分からぬところがあれば先生に直接指導していただき、他の美容専門学生や、現役美容師さんの作品を見るなどして、良い刺激を受けることができました。

ビューティーモード専門学校に入学してからは、行事と自分の実力を確かめる機会が多くあり、積極的に参加しています。これからも夢を現実にするため、向上心をもって能力を高めています。

**専門学校に進学して**

2期生 桑原恒太郎

私は津南中等教育学校を卒業して東京都にあるミューズ・モード音楽院に進学しました。数ある音楽系の専門学校の中でそこを選んだのには理由があります。ひとつは個別指導が充実しているので自分に合った進度で学習ができます。そしてもうひとつは他の学校にはない、ライブ活動を行うための資金援助制度が設けられていることです。そのため私は4月に親元を離れ上京しました。初めは念願の一人暮らしということもあり不安を感じることはありました。しかし慣れない家事や、なかなか馴染むことができない学校生活などで辛いことが増えていました。ですが家事は日を追うごとに慣れ、学校では同じ夢を追いかける友人や、先輩方などに囲まれていると次第に学校生活が楽しいと思えるようになりました。そして、津南中等のとき以上に充実した学校生活の中にはプロとして活躍している良き先生がいることも大きく影響していると思います。先生方は自分たちと同じ目線に立ち、的確なアドバイスをしてくれます。さらに、毎日先生方の弾く姿を間近で見れることや、少人数のため競争心が生まれるなどとてもよい環境で学べています。私はこの学校に入って初めて恩師と呼べる先生ができました。2年という短い間ですが、その先生のもとでたくさんのことを学び夢に近づいていきたいと思います。

最後に私の先の見えない進路決定にも関わらず応援してくれている家族、友人にはとても感謝しています。

**後輩へ****1期生 柳 翔輝**

みなさん、お久しぶりです。津南中等1期生として卒業し、早2年が経とうとしています。今、私は栃木県の専門学校に通い、救急医学について学んでいます。私の将来の夢は救急救命士として消防で働くことなので、日々、一生懸命体力づくりや勉強などに取り組んでいます。

最近思うことがあります。それは、「中等に入学して良かった」ということです。月並みのことなので、少し嘘っぽいかもしれません、卒業してから少しずつそう思うようになりました。と言うのも、私は今、就職活動の真っ最中です。その中には筆記試験が必要な企業や会社もあり、そういった時、中等での勉強が生きています。勉強は苦手であまりしてこなかった私ですが、中等に入学したことにより、基礎的なことをしっかりとできるようになりました。また、勉強の他にも私は友達に恵まれたと思っています。同じ仲間と6年間過ごすというのは他の中学、高校にはないことだと思いますし、その分友情も深められたのではないかと思います。卒業した今でも時間がある時などは集まり、いろいろ話したり、遊んだりしています。今の私があるのも彼らのおかげだと思いますので、とても感謝しています。

このようなことを述べてきましたが、実際中学では学校を好きではありませんでした。在校生の中にも、もしかしたらこのようない人がいるかもしれません。ただ、学校生活は大変かもしれません、中等での経験は必ず役に立つと思います。中等に入って良かったと思えるように、勉強はもちろん、いろいろなことにチャレンジしてみてください。

**新生活について****2期生 飯塚 洋介**

新生活についてですが、新生活を始めるということは、まだ見ぬ土地、共同体に行き、生活するということです。みなさんが新生活を始めることに於いて不安なことといえば、「自炊できるだろうか。」「大学生活に馴染めるだろうか。」「友達ができるだろうか。」ということだと思います。この場を通して、みなさんの不安を少しでも解消できればと思っています。

新生活に於いて最大の不安。それはおそらく自炊だと思います。その自炊についてですが、大学には学食というものがあります。私は昼夜2食使わせていただいているのですが、学食のメニューはとてもバランスがとれていて、食事を作る手間も省けて非常に便利です。この学食を上手に使うことで、私は健康な食生活を維持しています。友達と食べる学食は大学生ならではのことであり、味もひとしおです。また、大学の周りには飲食店が構えられていることが多く、時にはその店に友達や先輩と外食に行くこともあります。どこでその友達を作るかといえば、それは部活であり、サークルであると思います。友達、先輩が作れれば、自然と大学にも慣れていくようになると思います。

最後にもう1つ。私の場合、秋田大学に進学することになり、秋田市に引っ越ししてきました。もともと住んでいた十日町市も秋田市も豪雪で知られています。しかし、初めて秋田に来た3月上旬、自分の住んでいるところよりもはるかに寒くて、驚きを感じました。このような体験は新天地に行かない出来ないことです。みなさんも新天地で新生活を始めてはいかがでしょうか。

**就職して思うこと****2期生 神戸 沙織**

就職して約半年が経ちました。あつという間の半年だった気もしますが、卒業式が遠い昔に感じます。それほどに仕事一色な半年だったのだと改めて思います。

私は介護施設で働いています。介護の仕事を簡単に言うと、お客様（施設を利用されている方）の食事・排泄・入浴の介助、それとコミュニケーションをとることです。高齢の方と接するだけあり、大変なこともたくさんあります。ですが、お客様の笑顔と感謝の言葉はこの仕事をするやりがいもあり、辛いことも乗り切れるのです。また私は職員の中で一番年下なので年上の職員に囲まれ仕事をするのは良い刺激になります。お客様を含めこんなに様々な世代の方が集まるこの職場にとても魅力を感じています。

しかし、この仕事をしていて時々怖くなることがあります。それは、責任の重さです。「责任感」という面では学生も社会人も違いは無いと思います。ですが、学生の頃は全て自己責任でした。勉強しなくても成績が下がり、困るのは自分。提出物を出さなくとも、学校に遅刻しても自分が怒られるだけです。しかし、社会人は自分の言葉、行動が自己責任だけでなく職場全体の責任にもなってしまいます。怖いことだけど、社会に出て働くつてこういうことなんだと実感しました。

私は「仕事どう？」と聞かれた時、「大変だけど楽しいしやりがいを感じる」と答えました。そんな風に思えるところに就職できたことを嬉しく思います。進学した友達を話していると、私も進学すればよかったと思うこともあります。でも今、高校生に戻ったとしても私はまた、介護施設に就職という道を選ぶのだと思います。

**津南中等に在学中の後輩たちへ 2期生 新井 翼**

中等生のみなさんお久しぶりです。突然ですがわたしが津南中等ですごした6年間と大学で過ごした半年間を踏まえて後輩のみなさんにメッセージを送ろうと思います。

まず、前期生のみなさん。今のうちにたくさんのこと経験してください。それはどこかに旅行に行く、友達と休日にちょっと遠出する、といった特別なことだけでなく日常の中にもたとえば休み時間の中にも紛れていることがあります。それを見つけてみてください。どんなことでも役に立つ日が来ます。役に立ちそうでなくてもいつかネタや笑い話として使えるものもあります。常日頃から身の周りにアンテナを張り巡らしてください。

そして4、5年生のみなさん。将来の夢は、文理選択は、志望校は決まってきたでしょうか？今すぐ見つからなくて焦っている人もいるかと思います。しかしそれらは自分の将来にむけてとても大事なものです。後悔のないようにじっくり考えて決めてください。先生方に急かされてもうこれでいいや、なんてなることのないように（笑）

最後に6年生のみなさん。辛くなったら周りを見ましょう。辛いのは、苦しいのは自分だけじゃない。みんな自分と同じように辛くて苦しいんです。受験勉強で悩まない、辛くない、苦しくないなんて人はめったにいません。互いに励ましあいながら残りの中等生活を過ごしてください。

今中等生活を過ごす中で「なんでこんなことしなくちゃ」「中等生になきゃよかった」そんなことを考えている人がいるかと思います。しかしだれで無駄な日々を過ごすのが1番もったいないです。意味のある毎日を過ごしてください。そうすれば卒業した後に「中等入ってよかった！」って思えるようになると思います。我々2期生がそうであったように…。